

旅客ターミナルの整備により 定期航路新設・利用者の減少に歯止め

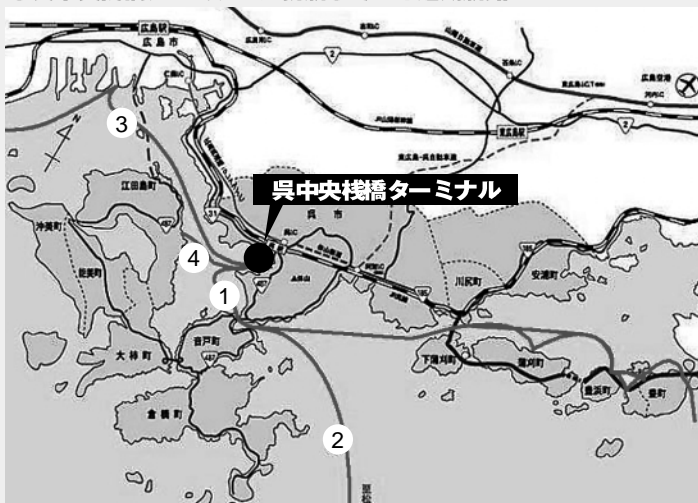
くれ
file18 **呉港**

対象施設 宝町地区旅客船ターミナル（呉中央さん橋ターミナル）
供用 平成12年

呉港と四国及び島嶼部を結ぶ旅客船やフェリー航路は、島嶼部の人口減少と急速な高齢化に伴い利用者数が減少傾向にあった。また、平成11年5月に本四連絡橋（しまなみ海道）が開通、平成12年1月には安芸灘大橋（下蒲刈島）が開通したことにより、旅客船航路に大きな影響が生じることが想定された。しかし、平成12年7月、呉港にバリアフリーに対応した新しい呉中央さん橋ターミナルを供用することで、翌年の平成13年7月には呉～別府間に定期航路が新設され、新たな地域間交流が生まれた。ターミナルのバリアフリー化などの整備によって、利用者の減少を抑えることに寄与。



●呉中央さん橋ターミナルに就航している定期航路



- 今治航路（10便/日、高速艇）
広島～呉～宮盛～豊島～久比～大長～今治
- 芸予航路（35便/日、フェリー・高速艇）
広島～呉～松山
- 別府航路（1便/日、高速艇）
呉～広島～柳井～別府
- 江田島航路（29便/日、フェリー・高速艇・旅客船）
呉～小用

呉中央さん橋の利用者数のうち約7割程度を占める周辺島嶼部への航路は、過疎化や少子高齢化により高齢者の割合が高く、このためバリアフリーに対応した、すべての人にやさしい浮き橋と旅客ターミナルを整備。

第2部
個別港湾事例

●呉中央さん橋ターミナル（整備前・整備後）

整備前 / 渡橋が急傾斜、屋根なし



整備後 / 渡橋が緩傾斜、屋根付き



●呉中央さん橋の旅客利用者数の推移（航路別）

単位：万人

